

本と鍵の季節

米澤 穂信 著／集英社 913.6



僕、堀川次郎は高校二年。利用者のほとんどいない静かな放課後の図書室で、同じ図書委員の松倉詩門と当番を務めている。松倉はほどよく皮肉屋ないいやつだ。そこへ図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。亡くなった祖父の開かずの金庫、その鍵の番号を探り当ててほしいのだと。ちょっとひっかかりを感じつつ、二人は先輩の家に向かうことに。放課後の図書室に持ち込まれた謎に、男子高校生が挑む全6編。丁々発止のやりとりに笑えて、爽やかで、ほんのりビターな図書室ミステリ。

☆シリーズ続編「菜と嘘の季節」もあります。

*開館時間

図 書 館	月	火	水・木・金	土・日
中央図書館 042-564-2454	午前10時 ～午後5時	休 館	午前10時 ～午後7時	午前10時 ～午後5時
桜が丘図書館 042-567-2231 清原図書館 042-564-2944	休 館	午前10時～午後7時		

*定期休館日

【中央図書館】火・第3木・祝日(土日と重なる場合は開館)

【桜が丘図書館・清原図書館】月(祝日の場合は開館)・第3木・祝日の翌日
(祝日の翌日が土日の場合は、翌週火曜休館)

*中央図書館2階部分は工事のため立ち入りできません。清原図書館は12月まで工事のため休館し、新堀地区会館で臨時窓口を開設しています。臨時窓口の詳細はお尋ねください。

*東大和市立図書館公式ホームページで、利用登録、資料検索、予約、工事休館のお知らせなど最新情報を公開しています。



*市公式 LINE でお友達登録すると、スマホで利用カードの番号表示ができます。図書館ホームページへのアクセスも簡単です。



正しく疑う

ー新時代のメディアリテラシーー

★ 中学・高校共通おすすめ本 ★

池上 彰 監修／Gakken 03



現代社会では、スマートフォンやタブレットでニュースを見たり、SNSで動画やコメントを見たりすることは、当たり前になりました。

その中には、本当のことだけでなく、うそ・まちがったことが入り混じっていることがあります。皆さんはそれを見分ける自信がありますか？

テレビのニュース解説でおなじみの池上彰さんが、『情報とどうつきあえばいいか』を難しい言葉を使わず教えてくれます。

何が炎上の原因になるのか？ どうすれば相手を傷つけずに自分の言いたいことを伝えられるのか？ 情報を使うときに必要な考える力を身に付けましょう。

リンドバーグ –空飛ぶネズミの大冒険–

クールマン、トーベン 作／金原 瑞人 訳／ブロンズ新社 937



一匹の知りたがりやの小ネズミは、図書館に忍び込み、こっそり人間の書いた本を読みふけていました。新開発のネズミ捕りを恐れてニューヨークに渡ってしまった仲間のあとを追うため、本で得た知識を総動員して大西洋を横断する飛行機作りがはじまります。何度も地面に墜落しながら、翼、蒸気機関、方向舵、車輪を付け…。

実在の偉人たちと同じように、小さなネズミたちも知恵と勇気で大空へはばたき、あるいは時空を越え、あるいは大海原へと旅立ち、知られざる大冒険

をしていました！「ネズミの冒険シリーズ」全5冊は、あなたを夢と驚きの冒険へと誘ってくれる、読み応えのある大型絵本です。

本を読んだことがない32歳がはじめて

本を読む –走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚–

かまど・みくのしん 共著／大和書房 019

この本はタイトルの通り「生まれてから一度も読書をしたことがない男が初めて本を読んだら一体どうなるだろう」という素朴な疑問から生まれたWEBメディアの記事を一冊の本にしたものです。

著者は勉強ができないことがコンプレックスで、自分なんか本を読むなんてもってのほかと思っていました。そんな彼のはじめての読書を通じて、教科書通りの読み方である必要はない、そもそも本に正しい読み方なんてないということを教えてください。



サボテンは世界をつくり出す

–「緑の哲学者」の知られざる生態–

堀部 貴紀 著／朝日新聞出版 479.8



報道記者から大学の研究者となった著者。研究費獲得のため、日本でほとんど研究されていない植物を探し、たまたま行った地元の祭りで食べたサボテンの風味に魅せられて、研究テーマにしようと決意します。

過酷な環境に適応して懸命に生き、外国では大規模栽培されて日常的に食べられる食材でもあり、美しい花を咲かせるサボテン。

世界でも珍しいサボテン学者となった著者の、おもしろすぎる生態解説と体を張った海外フィールドワークを鮮やかに描く一冊。

ガールズ・ルール –愛され女子でいるには–

ブシュネル、キャンディス・コトゥーニョ、ケイティ 共作／三辺 律子 訳／静山社 93

アメリカのハイスクールに通うマリンの憧れの先生は、英文学クラスのベックス先生。カッコいいし、大人。そして優秀な私はみんなよりちょっとだけ先生のお気に入りっぽいこともうれしい。

大学受験を目前にして、ちょっとした不満はあるけど、親友もスポーツマンの彼氏もいる。そんな充実した学生生活を送るマリンでしたが、ある事件をきっかけに、女の子だけに適用されるルールに気づきます。

本当に思っていることを校内新聞で発表したことで、マリンは校内で浮いた存在に。理不尽なできごとに対処したのでしょ

